

# 国際化促進インターンシップ事業と 高度外国人材(国内留学生)の日本での就職について



2019年2月28日

株式会社パソナ  
官公庁事業部  
国際化促進インターンシップ事業  
プロジェクト長 岡田 崇

## 国際化促進 インターンシップ事業

- 1.事業の背景と目的
- 2.外国人材インターン受け入れにより得られる成果
- 3.事業の全体図
- 4.事業の進み方・概要スケジュール
- 5.事業プログラムの特徴
- 6.事業経験者の声

## 国内留学生 就職事情

- 7.国内留学生総数と日本での就業者数
- 8.最終学歴・月額報酬・就業先従業員数
- 9.進路希望・日本での就職希望職種
- 10.就職後の将来と7月時点の就職活動状況
- 11.就職にあたっての不安

# 1. 事業の背景と目的

## 背景

現在の日本企業においては、事業の海外展開や新たな視点によるイノベーションの創出のために、**高度な知識と技術を有する外国人材を活用**することは、国際的な**競争力の強化に資する**と考えられています。

また現在日本企業では、外国人材の採用が年々増加していますが、中堅・中小企業においては、外国人材との交流やネットワークの構築がまだ十分ではなく、共に働く経験が不足しているため、**外国人材の活用が進んでいない**のが現状です。

## 目的

本事業では、日本企業(中堅・中小企業)における外国人材のインターンシップ受け入れを通じて、**内なる国際化・ダイバーシティマネジメントの理解**を深めると共に、**外国人材との協働経験、事業の海外展開、新たな視点によるイノベーションの創出**を行い**国際化を促進**します。

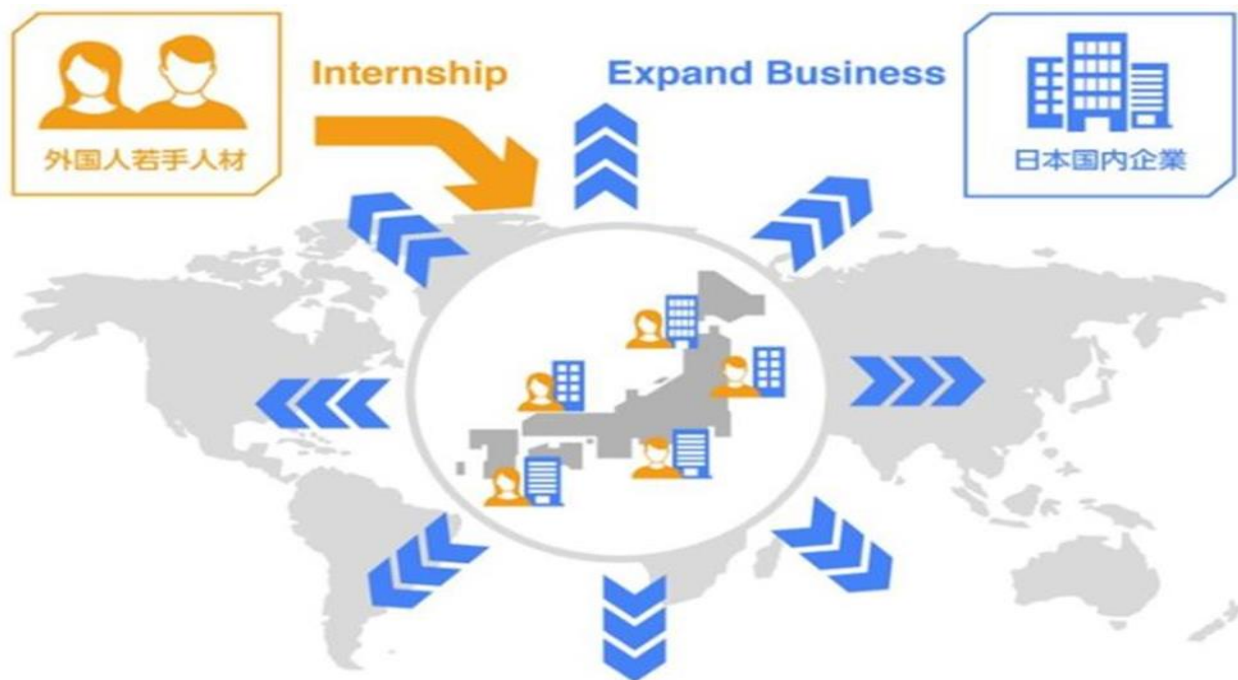
## 外国人材インターンシップ受け入れを通じて**国際化を促進**

- ▶ 内なる国際化・ダイバーシティマネジメントの理解
- ▶ 外国人材との共働経験、海外展開、イノベーションの創出

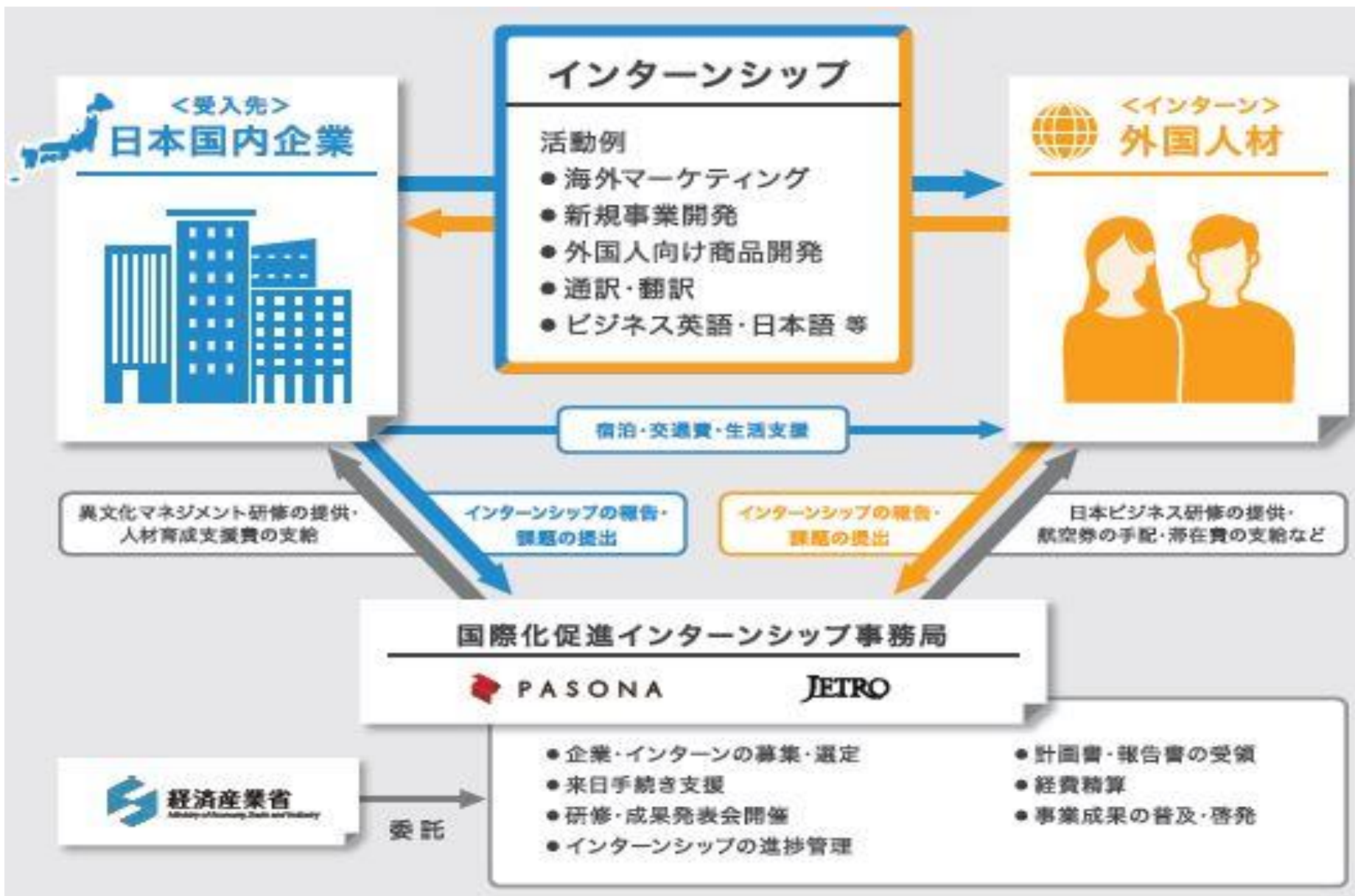
## 2.外国人材インターン受け入れにより得られる成果

### 本事業で企業がインターンを受け入れることにより得られる成果

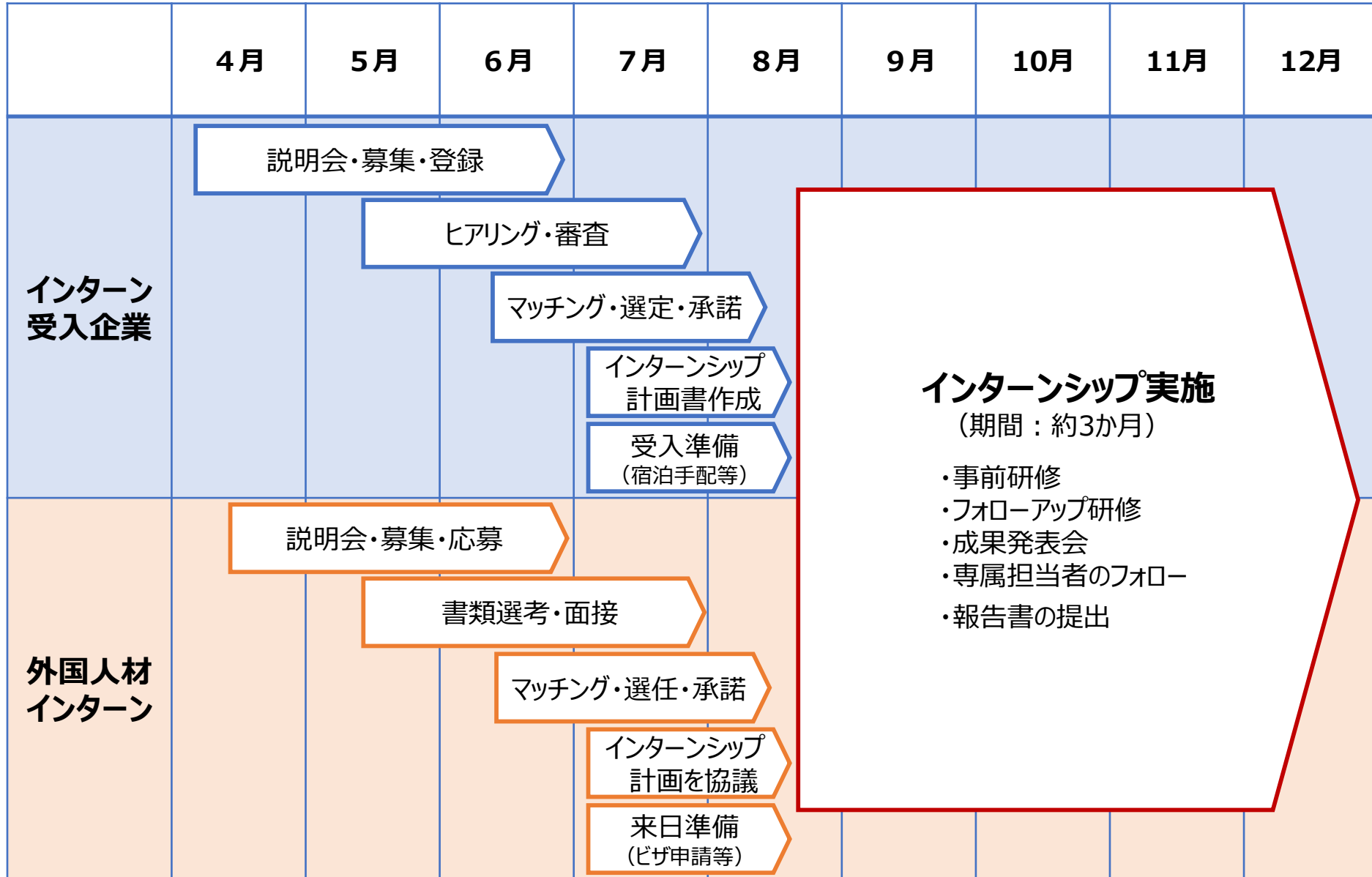
1. 海外ビジネスの拡大や新たな展開に向けた知見構築
2. 外国人と働くことや異文化コミュニケーション経験による意識改革
3. 外国人採用に向けた海外大学等とのネットワーク構築や社内の体制整備



# 3.事業の全体図



# 4.事業の進み方・概要スケジュール



# 5. 事業プログラムの特徴

【外国人材インターンエントリー数、インターン実施数】

選考通過率 2%・倍率48倍  
インターンは優秀な人材を選任

	海外人材	国内留学生	計
説明会	1,685	176	1,861
エントリー	10,446	384	10,830
インターン実施	186	39	225

【平成30年度 インターン数、及び国別インターン数】

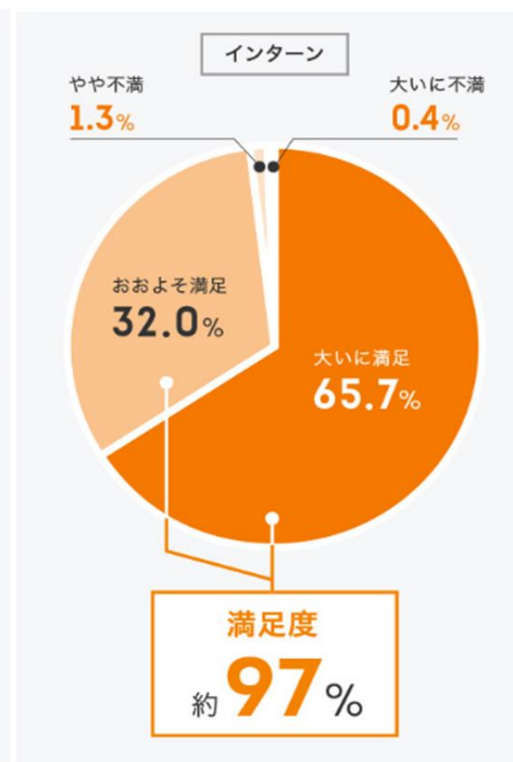
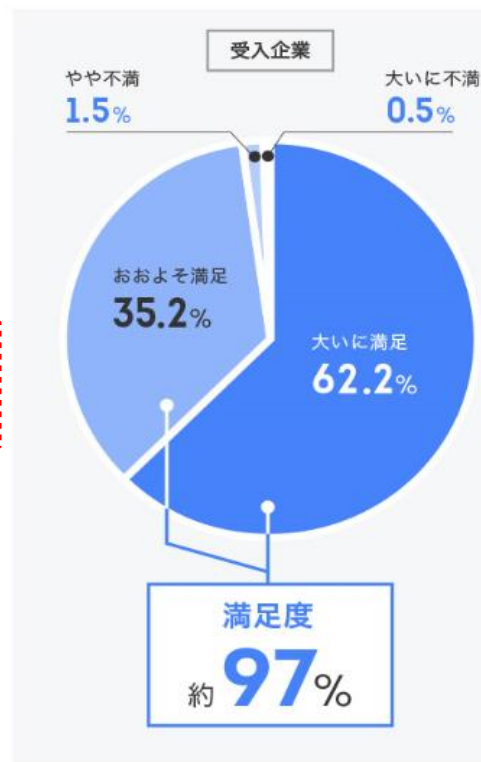
世界29か国  
海外人材 186名 国内留学生 39名 計 225名

インターン出身国上位8か国

RANK	国籍	海外人材	国内留学生	計
1	ベトナム	59	7	66
2	インドネシア	30	4	34
3	タイ	30	2	32
4	中華人民共和国	18	7	25
5	インド	13	5	18
6	マレーシア	13	1	14
7	フィリピン	4	2	6
8	ミャンマー	5	0	5

【本インターンシップ事業全般への満足度】

高い満足度  
受入企業、インターン共に満足度約97%



平成30年度 受入企業 (N=196) / インターン (N=225) アンケート結果より

## 5. 事業プログラムの特徴

### インターンは各国のトップ大学出身等の優秀な人材を選任

- インターンは新興国を中心とした大卒以上(在学学生含む)、日本語または英語が話せるトップ層の高度外国人材を対象に募集
- インターンは書類・面談による高倍率(48倍)の選考を通過
- 応募企業の希望に合わせて丁寧なマッチングを行い提案 (高いマッチング精度)

### 研修や訪問を通じた受入企業・インターンへ手厚いフォローアップ

- 受入企業担当者・インターンに、事前研修(異文化コミュニケーション研修)を実施し受入れをサポート
- インターン実施期間の中間地点でフォローアップ研修を実施し必要に応じて活動内容の改善をサポート
- 事務局の専属担当者が受入企業を訪問し、受入企業・インターン双方に個別フォロー

### 事務局が受入企業・インターンのインターン活動をバックアップ

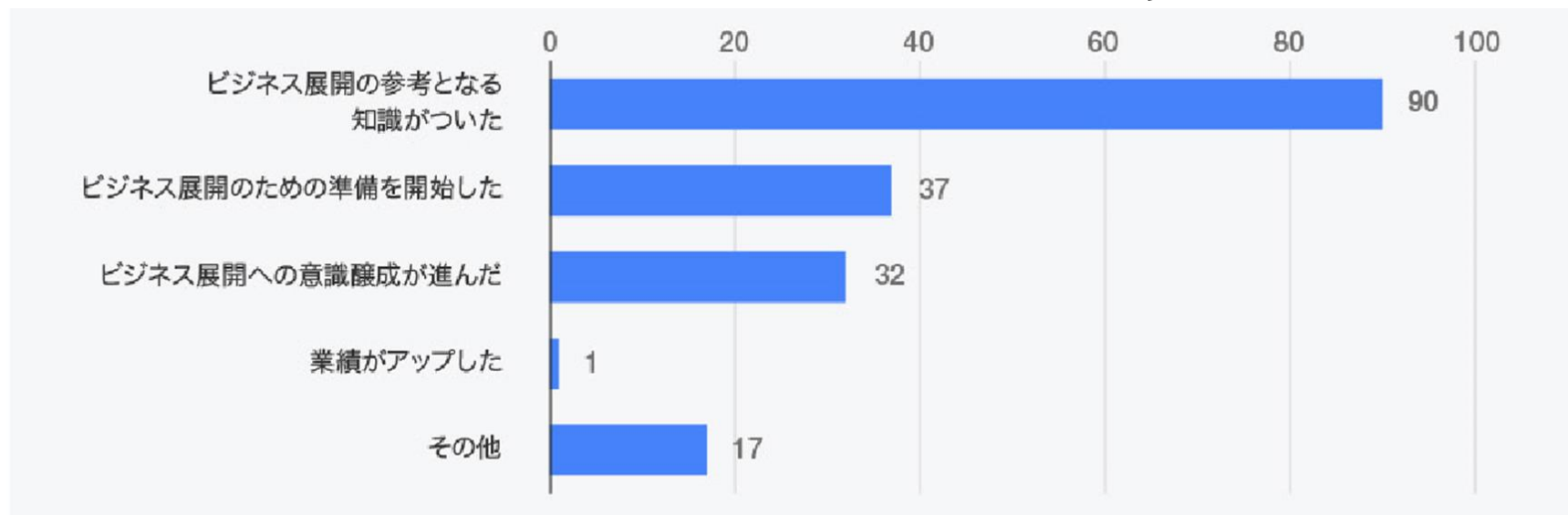
- 受入企業へは人材育成支援金として、2,000円/活動日を支給。インターンへは滞在費として4,000円/日を支給(国内留学生は活動日のみ)
- インターンのビザ申請書類、航空券等を手配。インターンシップ保険の付保



## 6. 事業経験者の声

### 1. 海外ビジネスの拡大や新たな展開に向けた知見構築

「海外ビジネスや新たな事業展開」にどのようにつながりましたか？



平成30年度受入企業アンケート結果より（複数回答）

#### <受入企業からのコメント・具体例>

##### 【知見構築・把握ができた】

- 自社が取り組んでいる新技術が海外向けとなるか意見を聞いた。

##### 【意識醸成・意識改革が進んだ】

- 弊社のトップレベルが言葉で海外進出を連呼するより、実際にインターンが共に仕事をする事により、社員の意識が飛躍的に向上。

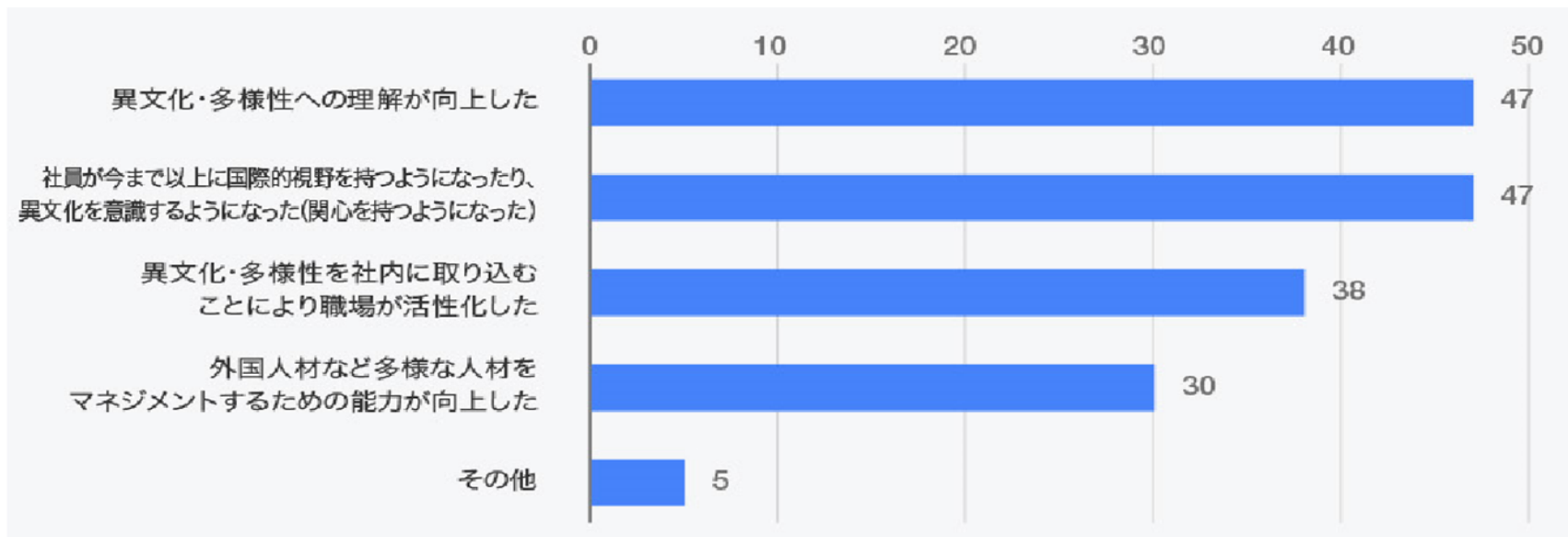
##### 【展開をする為の準備を開始した】

- 英語版の広告媒体を作成してもらい、アプローチの幅が格段に広がった。

## 6. 事業経験者の声

### 2. 外国人と働くことや異文化コミュニケーション経験による意識改革

#### 「社員の意識改革」にどのようにつながりましたか？



平成30年度受入企業アンケート結果より（複数回答）

#### <受入企業からのコメント・具体例>

##### 【国際的な視野を持つ、異文化へ意識を向けるようになった】

- インターン出身国の習慣、言葉の内容を理解しようとする社員努力が見えてきた。

##### 【異文化・多様性について理解が向上した】

- 外国人材と働くことは特別ではないと感じるようになった。

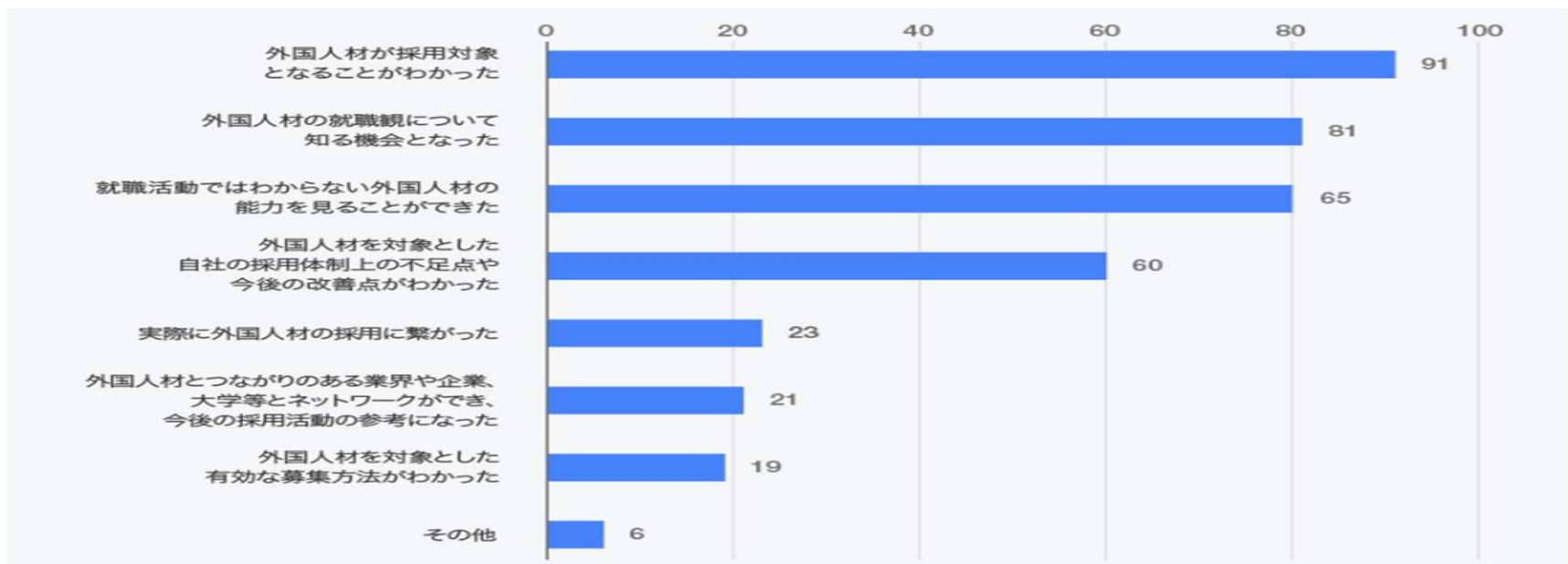
##### 【異文化・多様性を取り込む事により職場が活性化した】

- マンネリ化してしまいがちな日々の業務に異文化を取り込むことで活性化した。

## 6. 事業経験者の声

### 3. 外国人採用に向けた海外大学等とのネットワーク構築や社内の体制整備

#### 「外国人材採用」についてどのようにつながりましたか？



平成30年度受入企業アンケート結果より（複数回答）

#### ＜受入企業からのコメント・具体例＞

##### 【外国人材の能力水準について把握できた】

- 考え方が日本人社員よりグローバルであり、会社には必要だと感じた。

##### 【外国人材の胸中・海外の就職事情を把握できた】

- 就職に対する考え方や、自分自身の夢を明確に持っている。

##### 【外国人材採用に向けた体制整備についての課題が明確化した】

- 外国人材受入については社内の意識がもう少し変わる必要があると思った。

# 詳細及び最新情報

国際化促進  
インターンシップ事業

詳細及び最新情報は公式Webサイト(<https://internshipprogram.jp/>)・公式Facebookをご覧ください。

## 公式Webサイト



## 公式Facebookページ



# 7.国内留学生総数と日本での就業者数

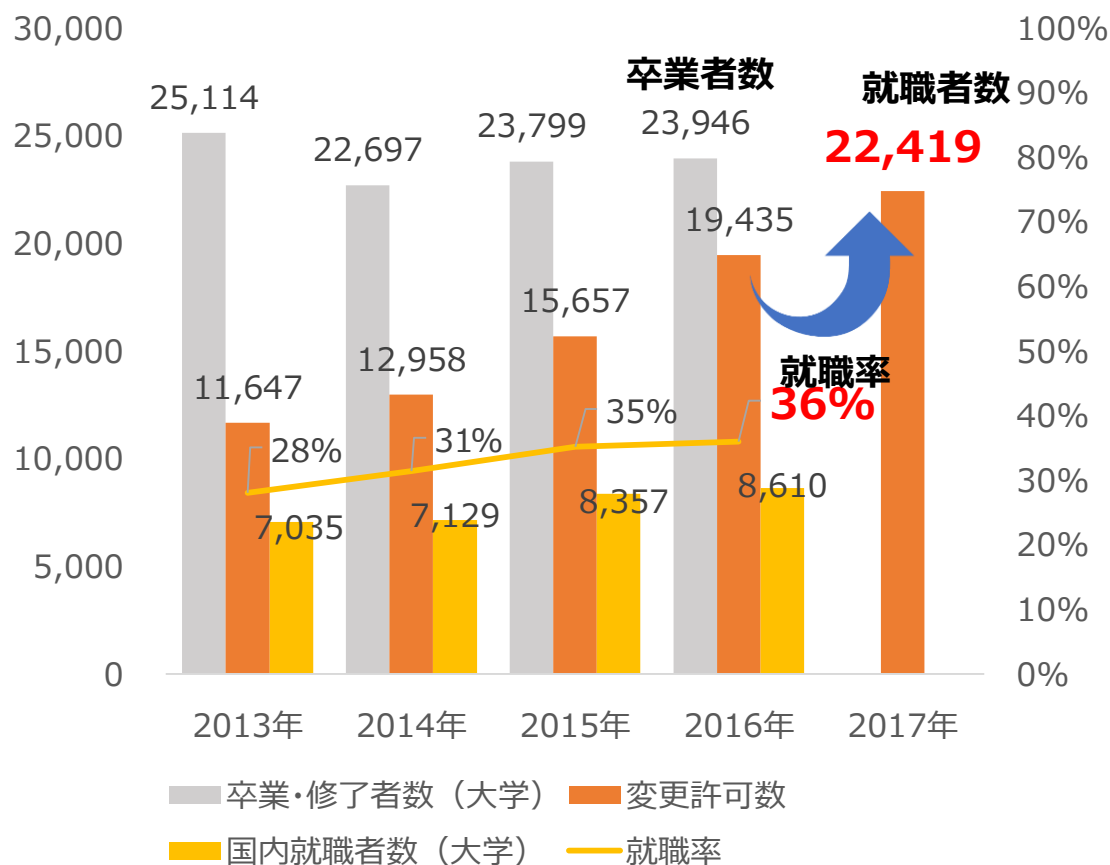
- 国内留学生の日本での就業者数は **22,419人**。昨年度から約**3,000人増加**
- 大学・専修学校等の卒業者の内、**36%が日本で就職**している

## 国内留学生総数 298,980人

(前年比 31,938人(12.0%)増)  
(平成30年5月1日時点)

国籍	人数	対前年 増加数・率
1. 中国	114,950人	7,690人 7.1%増
2. ベトナム	72,354人	10,683人 17.3%増
3. ネパール	24,331人	2,831人 13.1%増
4. 韓国	17,012人	1,272人 8.0%増
5. 台湾	9,524人	577人 6.4%増

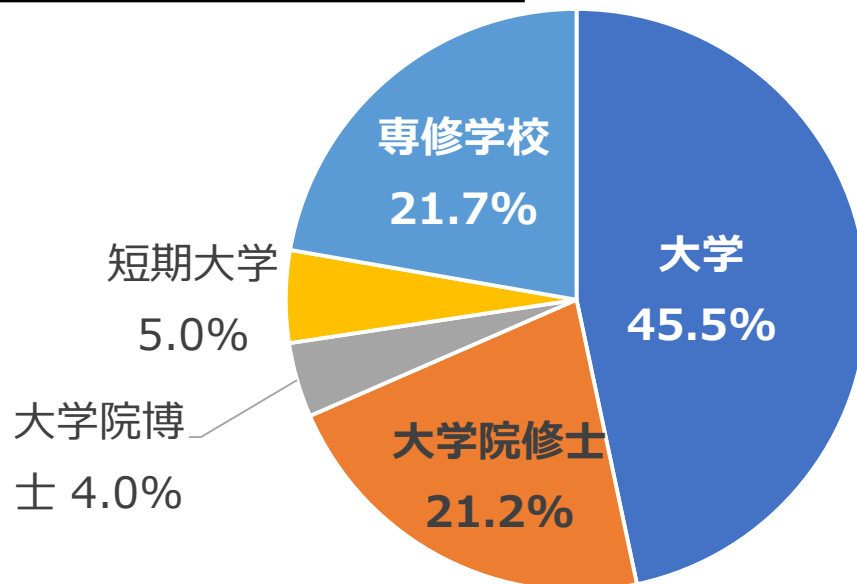
## 留学生の卒業生数・就業者数(率)



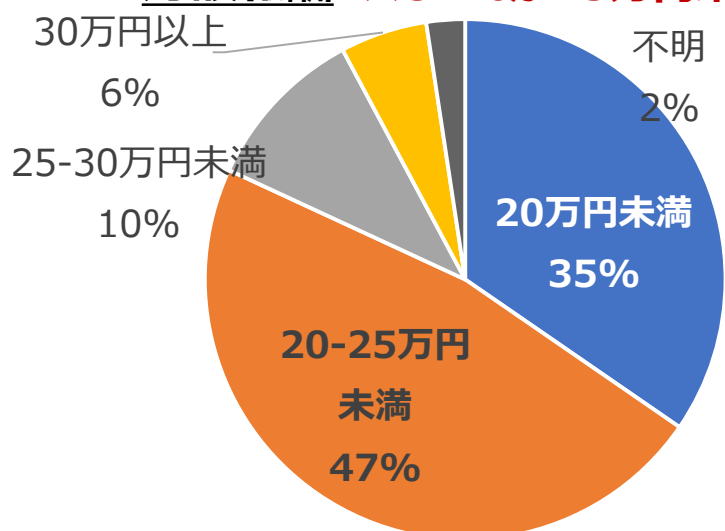
# 8.最終学歴・月額報酬・就業先従業員数

## 国内留学生の日本での最終学歴

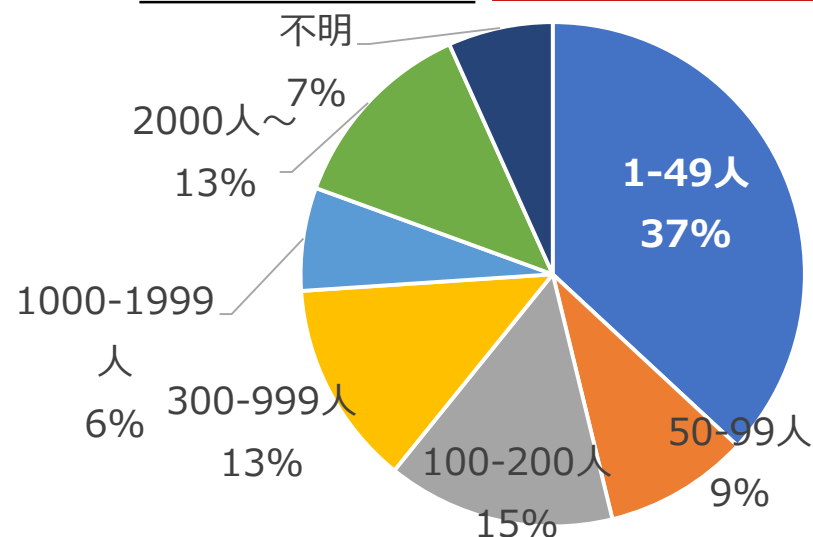
※70.7%が大学、大学院修士・博士



## 月額報酬 ※82%が25万円未満

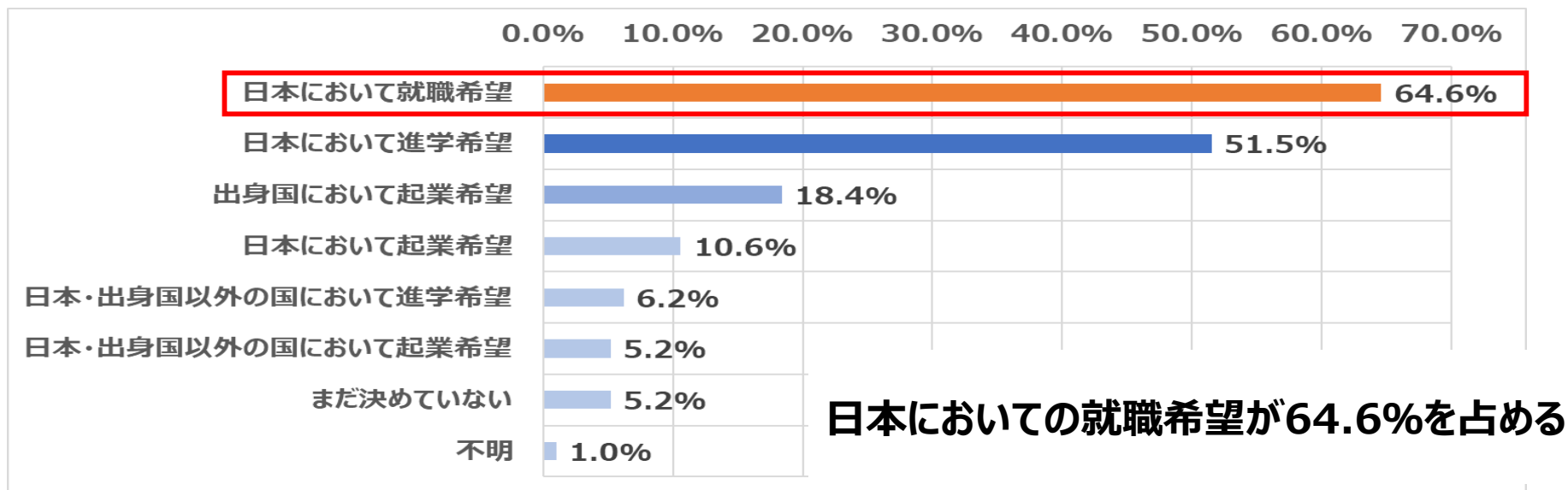


## 就職先従業員数 ※61%が300人未満

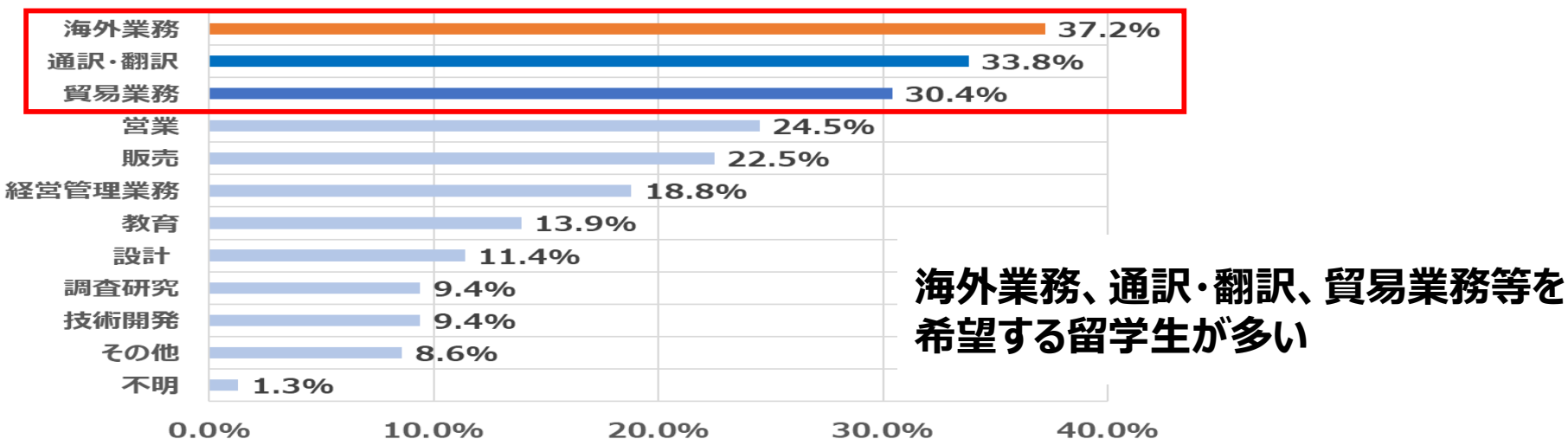


# 9.進路希望・日本での就職希望職種

## 国内留学生の卒業後の進路希望

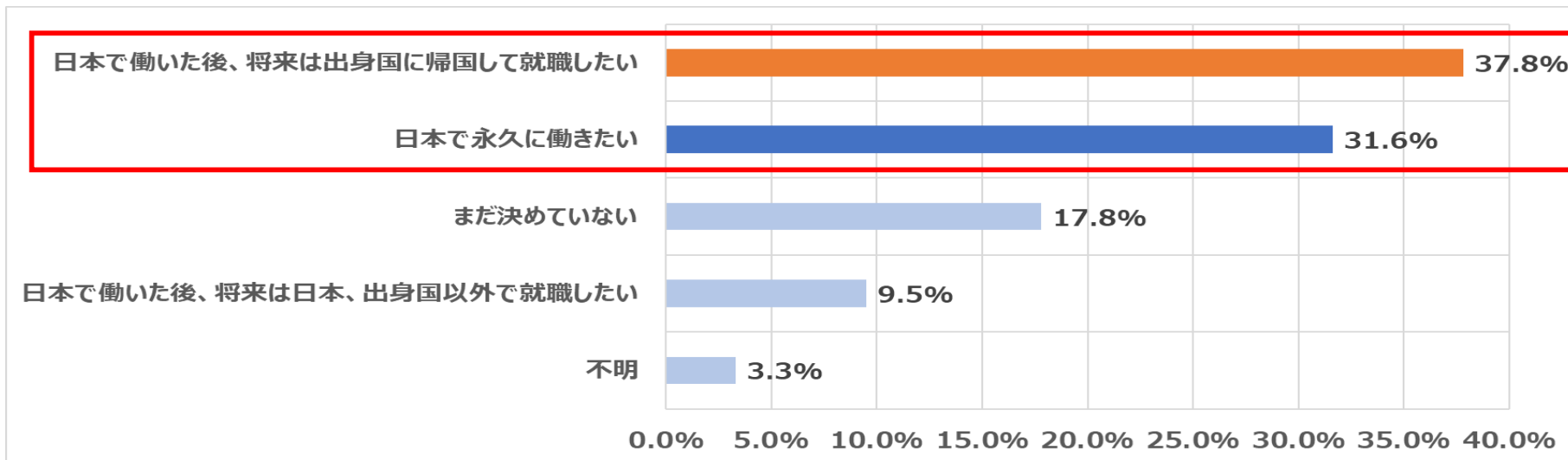


## 「日本において就業希望」回答者の就職希望職種



# 10.就職後の将来と7月時点の就職活動状況

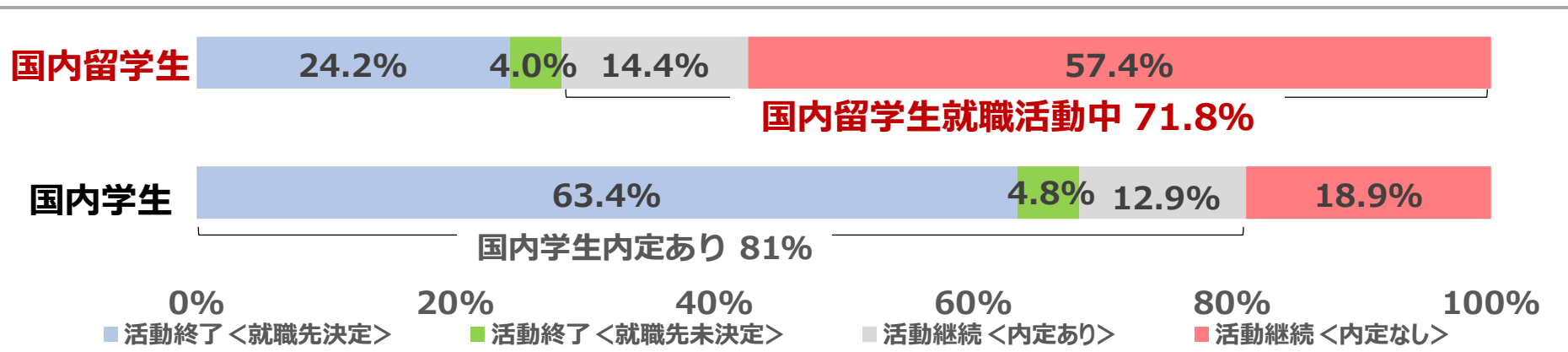
## 国内留学生の日本での就職後の将来



日本学生支援機構「平成29年度私費外国人留学生生活実態調査概要」（平成31年1月）

## 7月時点での就職活動状況

国内学生が80%以上が内定を得ている7月時点で、**国内留学生の71.8%が就職活動中**

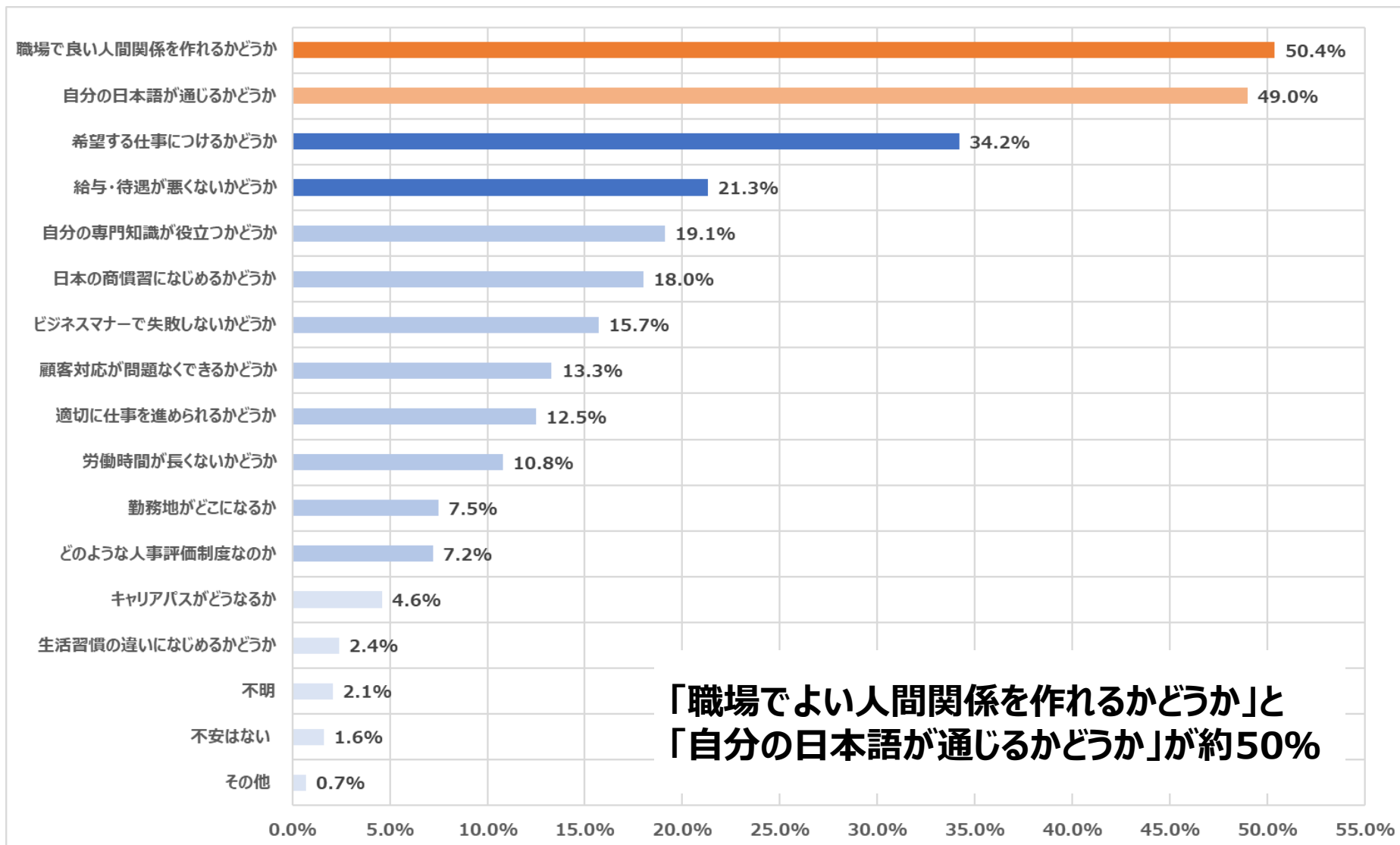


株式会社ディスコ「2019年度 外国人留学生の就職活動に関する調査結果」（2018年8月）



# 11.就職にあたっての不安

## 就職にあたっての不安(複数回答)



## アンケート結果から (まとめ)

- ・国内留学生は高学歴者が多く、卒業後日本において就職を希望するも**就職率は36%**に止まっている。
- ・国内留学生は日本の就職活動の方法がよく分からず、国内学生の大半が内定を得ている7月時点でも**71.8%が就職活動中**である。
- ・就職にあたっての不安は、「職場でよい人間関係を作れるかどうか」と「自分の日本語が通じるかどうか」が共に**50%**を占めており、受け入れる企業の**内なる国際化・ダイバーシティマネジメントの理解**がポイントとなる。

## 国内留学生の獲得策 (案)

1. 「内なる国際化・ダイバーシティマネジメントの理解」を進めるため、**国際化促進インターンシップ事業**を活用し国際化の第一歩を踏み出す。
2. **外国人材ジョブフェア**への参加、**外国人材採用・定着化セミナー**への参加及びサービスの利用等により、国内留学生採用ルートの確立と採用・定着化の知見を深める。